

2023年度事業報告

2023年4月1日～2024年3月31日

2023年度の日本建築協会は、全分野にわたりこれまでの在り様・活動を総括し、「続けるべきこと・変えるべきこと」の見極めに注力した。

まず協会活動の基盤となる財務体質の強化を掲げ、会員の確保による会費収入の維持と、協会誌「建築と社会」の紙面改革によるプロジェクト掲載数増と広告収入増に取組んだ。

会員数については、2023年度、個人及び準会員は増加、団体会員は期初の水準を維持し、前年度に引続き、全体で昨年を上回る増加となった。協会活動を通して、会員獲得・会勢拡大に努めたが、今後も継続的に取組んでいく必要がある。

協会誌に関しては、プロジェクト紹介の頁で、設計者のみならず施工者の視点、建築材料や家具メーカーからの視点を加え、紙面を充実させる試みを幾つか行ったことにより、掲載料収入が増え、効果が確認できた。今後も会員にとってより魅力的な協会誌にするとともに、収入増を目指して継続的に取組んでいく。

委員会活動では、第69回工高生デザインコンクール、第70回青年技術者顕彰を実施、また、第7回を迎えた片岡安賞（日本建築協会論考コンクール）は、学校法人常翔学園の協賛を得て初めて賞金を設定、「Well-being」というテーマに、第1回に次いで多い12編の応募があり、今回も建築以外の分野の方からの応募が数編見受けられた。その他、新入会員ガイダンスや会員・非会員を問わず共に集うイケフェス協賛イベント（スペシャルツアー 日本建築協会 Presents! 三休橋筋を歩く）、見学会、講習会等を実施した。

協会ホームページでは、「会員様からのお知らせ」欄を新設し、「展示会」「見学会・講演会・講習会」「新製品の紹介」など、会員の皆様からの情報発信に活用頂けるようリニューアルした。会員サービスの向上については次期以降も継続して取組んでいく。

2023年度収支決算は、会費収入は予算額を下回ったものの、前年実績額を上回った。

また事業収支も、会誌収支の収支改善や好調に推移した契約約款の販売収入により、全体において、昨年に比べ改善した。

一方、管理費は、事務局職員退職に伴う人事移行期の人件費増をはじめとして、いくつかの科目で予算額を上回り、全体で予算額を上回った。

結果、本部・支部を合わせ、期末の正味財産額は、1,152千円の減となった。

I 本 部

◎役員会等の開催状況

1. 総会、理事会、評議員会、常任理事会 定時総会 6月29日(木)

- ①2022年度事業報告・決算報告
- ②2023年度事業計画・収支予算
- ③役員改選

第1回 通常理事会 6月6日(火)

- ①2022年度事業報告・決算報告
- ②2023年度事業計画・収支予算
- ③役員候補者選任

第1回 臨時理事会 6月29日(木)

- ①役付役員選任
- ②常任理事、常設委員長委嘱
- ③理事の会務分掌

第2回 通常理事会 11月16日(木)

- ①2023年度上半期事業執行状況
- ②臨時評議員会 6月6日(水)

- ①副議長互選
- ②役員候補者推薦

第1回 常任理事会 4月26日(水)

- ①2022年度事業報告(案)
- ②2023年度事業計画(案)
- ③2022年度収支決算(案)と2023年度収支予算(案)

- ④2023年度の役員(理事)、評議員の回答状況
- ⑤その他(事業委員会内新小委員会設立報告(他))

第2回 常任理事会 5月22日(月)

- ①2022年度事業報告(案)
- ②2022年度決算報告(案)
- ③2023年度事業計画(案)
- ④2023年度収支予算(案)

- ⑤2023年度の役員(理事)、評議員の回答状況
- ⑥その他(新入会員ガイダンスについて(他))

第3回 常任理事会 7月26日(水)

- ①今後の役員会の日程
- ②財政健全化に向けて—2022年度決算を経て
- ③その他(建築と社会「作品作風」掲載内容及び料金変更(他))

第4回 常任理事会 9月27日(水)

- ①11月以降の役員会の日程
- ②イケフェスにおける

「日本建築協会 Presents! 三休橋筋を歩く」

- ③約款の値上げ
- ④その他(事務所内、図書の整理(他))

第5回 常任理事会 10月25日(水)

- ①2023年度上半期事業執行状況
- ②2023年度上半期収支予算執行状況
- ③2024年6月評議員会、通常理事会・臨時理事会、定時総会の日程
- ④2024年度年間特集テーマ
- ⑤第42回大阪都市景観建築賞 審査委員会の報告
- ⑥新規個人会費のクレジット支払の検討
- ⑦その他(2023年度 建築関係団体合同忘年懇親会開催(他))

臨時常任理事会 11月16日(木)

- ①事務所改装の件
- ②第6回 常任理事会 1月31日(水)

- ①会員年会費、値上げ
- ②来年度の会議体開催日程(基本第4水曜日)
- ③2024年度、委員会他予算のエントリー
- ④会員さんからの情報発信ページの創設&利用料金
- ⑤委員の委嘱についての確認
- ⑥大阪府との省エネ協定
- ⑦総会記念講演 講演者候補
- ⑧その他(新監事任命(他))

第7回 常任理事会 2月28日(水)

- ①2024年度の役員、評議員の推薦依頼
- ②11月支部長会議の日程(案)
- ③委員会規定(案)
- ④「建築と社会」来年度のページネーション(案)
- ⑤「グループ割り」の会費(案)
- ⑥総会後講演候補者
- ⑦新監事就任お願い結果
- ⑧会員発信情報のホームページ掲載に対する条件(案)
- ⑨その他(会費改定に対する広報の進捗、スケジュール(他))

第8回 常任理事会 3月27日(水)

- ①新入会員ガイダンスの実施時期の検討
- ②京都支部 今後の方向性
- ③監査法人との契約継続
- ④学生会員制度の周知
- ⑤インフォメーションページの今後
- ⑥その他(青年技術者3年在籍についてのお願いの周知(他))

第1回 会長・副会長・常任理事・支部長会議

11月16日(木)

- ①2023年度上半期事業執行状況
- ②意見交換

2. 常設委員会

協会の事業を円滑に遂行するため、5つの常設委員会を設置している。

(1) 編集企画委員会

協会誌「建築と社会」の企画・編集のため、編集企画委員会を設置し、2つの小委員会(特集、ひと・まち・建築)で構成している。さらに特集小委員会は7つの分科会(計画、建築デザイン、空間デザイン、構造、環境、施工材料、法令)に分かれている。

当期は、編集企画委員会を12回、特集小委員会(分科会を含む)を60回、ひと・まち・建築小委員会を11回開催した。

会誌収支は、2021年度から好転、徐々に回復基調になっている。Projectの掲載数増が大きく貢献している。2019年度以降、さまざまな対策を立案する組織を編成し、協会誌のあり方や魅力付け、さらには編集企画委員会のあり方という根源的な側面にも及び検討を重ねてきた成果であり、冒頭に記した活性化策をはじめとして、引続き改善策を模索しながら収支改善に継続的に取組むものである。

収支改善の兆しは見え始めているが、さらなる会誌の魅力度アップを図り、時代の流れに沿った内容、配信方法への移行という部分も、引続き実施すべき重要な内容になっている。当期においては、小委員会・分科会レベルでの改革を目指し、会の名称の一部変更し、活動の方向性・委員等の属性の見直しを実現できるように準備を進めた。

(2) 見学会委員会

見学会・講演会・交流会の開催、他団体との連携を行うことを目的に、情報見学会小委員会と2023年度に発足したCCCフォーラムとで構成している。

情報見学会小委員会は、委員会を7回開催し、7月に「京都競馬場」、8月に「武庫川女子大学 建築学部 景観建築スタジオ 東館、西館」、11月に「第36回『茶室』見学会(国宝待庵)、3月には「高槻城公園 芸術文化劇場」と見学会を4回実施した。

また、史料研究会と協力してイケフェス大阪2023に参画し、「日本建築協会 Presents! 三休橋筋を歩く」を10月28日に開催した。

加えて、4団体で主催する「建築関係団体 合同忘年懇親会」を当番として12月14日に主催し、その準備と決算報告のための実行委員会を3回開

催した。なお、1981年の同日に初めて開催された合同忘年懇親会は、40回の会を重ね、今回をもって終止符が打たれた。

CCCフォーラムは委員会を10回開催し、青年技術者交流会を7月、10月、3月に開催した。

同フォローアップ会を9月、12月、3月に行った。また、2023年度から事業委員会を受け持つことになった「新入会員ガイダンス」を9月27日に開催した。

その他、「第42回大阪都市景観建築賞」の幹事会に3回、担当副会長と事業委員長とで参加した。

(3) 出版委員会

建築に関する図書の企画・編集・刊行を行うため、当期は11回開催した。

(4) 教育委員会

建築工事実務講習会を開催する講習会小委員会、工高生デザインコンクールを主催する工高生教育小委員会、「再読 関西の建築」を企画・編集する史料研究会を運営している。

当期は、講習会小委員会を3回開催した。史料研究会は6回開催され、会誌の連載記事「再読 関西の建築」で取上げる建築・論考を選出するとともに、「先達に聞く」と名付けた新企画の開始準備を始めた。

また、大阪府や建築4団体で構成する「大阪府住まい・まちづくり教育普及協議会」にも引続き協力した。

(5) 未来創生プロジェクト

様々な活動を通じて、建築と社会の未来を探り、創り、育てるとともに人材の発掘・育成を目的に、建築次世代委員会、2040委員会、U-35委員会の3つの委員会が構成されている。

建築次世代委員会は、建築と社会を担う人材育成に資する活動を創造するため、10回開催した。学生のための現場見学会を1回実施し、WEB見学会コンテンツ用の撮影を1回実施した。

2040委員会は、日本建築協会が百年にわたり築いてきた歴史の上に、「次世代(Next Generation)」の想いを集結させ、「次代(Next Era)」が創造的で魅力的なものとなるべく、これからの「建築と社会」のあるべき姿を思考(志向、試行)することを目的に10回開催し、内1回はオープン委員会として参加者を募り開催した。有識者との意見交換会「Future Dialogue」を1回実施した。

U-35委員会は、若手会員の増強と協会活動の活性化を目指し11回開催した。委員相互の勉強会として「talk baton」を3回実施した。茨木市が主催する廃道化計画に向けた社会実験の参画にあわせて、U-35世代の交流及び一般市民の交流の場となる公開型イベント「9th action」を昨年度に続き「建築とみち」と題して2回目を実施した。

3. 特別委員会

協会の顕彰事業を円滑に遂行するため、5つの特別委員会を設置している。

(1) 青年技術者選考委員会

設計・計画、構造、設備、施工など建築に関連する分野から満35歳以下の青年技術者を顕彰するため、選考委員会を5月16日(火)に開催した。

(2) 工高生デザインコンクール審査委員会

工高生デザインコンクールは、工高生の設計技能向上のため、1955(昭和30)年創立以来毎年実施してきた。審査委員会を10月21日(土)、表彰式を11月18日(土)に開催した。

(3) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール審査委員会

100周年記念事業のテーマである「新しい地平へ」を実現するため、論考の発表の場を提供する「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールの応募作品を審査し、表彰している。

当期は3回開催した。5月16日(火)に第7回のテーマ調整最終会議を論考コンクール実行委員会とともに開催した。1月17日(火)に審査委員会を開催し一次審査通過者3名を選出した。また最終審査となる公開プレゼンテーションを3月23日(土)に実施し、片岡安賞1名、佳作2名を決定した。

(4) 「片岡安賞」日本建築協会論考コンクール実行委員会

論考コンクールのテーマ案策定、審査委員選任、公開プレゼンテーションの運営などを行なう独立した組織である。

当期は5回開催した。5月16日(火)に論考コンクール審査委員会と共に第7回のテーマ調整最終会議を開催した。その後3回開催し、第8回のテーマ案を検討すると共に、第8回以降の新審査委員の候補者を選定した。

◎事業の執行状況

1. 「建築と社会」誌の発行

「建築と社会」誌は、1917(大正6)年の創立以来協会活動の中核として、会員相互あるいは会員と社会を結ぶ役割を果たしている。毎月発行し会員の手元に届けている。2024年3月号で通巻1224号を数える。

発行月	特集内容
4月号	「共創」が導くこれからの社会
5月号	新しい価値の創造
6月号	片岡安賞 第6回募集テーマ：「ジェンダー平等」が変える建築の未来像
7月号	第70回 青年技術者
8月号	共創の場のコーディネート
9月号	公共まちづくりと共創
10月号	コラボレーションと建築
11月号	社会と共に創るロングライフ建築
12月号	プロフェSSIONALたちの共創
1月号	博覧会が変えた社会、2025年万博が変える社会～2025年大阪・関西万博に向けて～
2月号	第30回 日本建築協会会員作品「私の空間作法」
3月号	東海支部特集
特集以外の主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ●作品作風 ●gallery ●法令コーナー ●構造・設備の頁 ●再読 関西の建築 ●メンバースフォーラム ●インフォメーション

2. 講演会の開催

話題の建築物や構造物、都市問題など様々なジャンルを対象にエピソードや苦労話、ノウハウなどを聞く講演会を毎年開催している。

開催：6月29日(木)
名称等：定時総会記念講演「知られざる大阪の芸術力—大阪から万博まで」

講師：大阪中之島美術館学芸課長 植木啓子

参加者：70名

CCCフォーラム主催分

開催：7月21日(金)

名称等：第4回 青年技術者交流会

発表者：日建設計 指田孝太郎

安井建築設計事務所 杉木勇太

昭和設計 田村友哉

鹿島建設 新井翔太

参加者：19名

開催：11月17日(金)

名称等：第5回 青年技術者交流会

発表者：竹中工務店 木全瑛二

大建設計 小林敬政

安井建築設計事務所 仁賀亮太

竹中工務店 内山元希

参加者：29名

開催：3月1日(金)

名称等：第6回 青年技術者交流会

発表者：日建設計 明本 学

安井建築設計事務所 山崎 拓

大和ハウス工業 藪田智裕

参加者：28名

3. 見学会の実施

著名建築物や近代建築などの見学会を毎年実施している。当期は5回開催した。

建築次世代委員会で、「第8回学生のための見学会」[医誠会国際総合病院新築工事]を行い、情報見学小委員会で、「京都競馬場」、「武庫川女子大学 景観建築学部西館・東館」、「第36回「茶室」見学会(国大 待庵)」、「高槻城公園芸術文化劇場」の見学会を開催した。

建築次世代委員会主催分

開催：6月20日(火)

名称等：第8回学生のための見学会「医誠会国際総合病院新築工事」

発表者：清水建設 坂東一男

清水建設 森田 彦

清水建設 松永龍彦

参加者：17名

情報見学小委員会主催分

開催：7月20日(木)

名称等：京都競馬場

発表者：安井建築設計事務所 橋本和典

安井建築設計事務所 宮武慎一

安井建築設計事務所 三井貴裕

安井建築設計事務所 中村理恵子

参加者：20名

開催：8月22日(火)

名称等：武庫川女子大学 景観建築学部西館・東館

発表者：武庫川女子大学 杉浦徳利

参加者：18名

開催：11月23日(木)

名称等：第36回「茶室見学会」妙喜庵(茶室 待庵) 大山崎ふるさとセンター

発表者：京都建築専門学校 桐浴邦夫

参加者：32名

開催：3月18日(月)

名称等：高槻城公園芸術文化劇場見学会

発表者：日建設計 江副敏史

日建設計 多喜 茂

日建設計 差尾孝裕
大林組 磯崎邦夫

参加者：44名

4. 建築工事実務講習会の開催

1957(昭和32)年以降、毎年主として中堅以下の建築技術者を対象に標記講習会を実施している。当期は1月25日(木)に開催した。

開催：1月25日(木)

講習：①施工計画 ②仮設見積

講師：①戸田建設 山東圭司

清水建設 伊藤維俊

②大林組 中野敬史

参加者：38名

5. 顕彰事業の実施

(1) 青年技術者の顕彰

1954(昭和29)年度から毎年実施している。2023年度・第70回は37名を顕彰した。

・設計・計画 14名

浅田翔大、岩田和也、木全瑛二、河本淳史、小林敬政、陳 遜、辻井成美、土屋秀正、土居正裕、中田達也、仁賀亮太、藤田俊洋、山崎 拓、山本和宏

・構造 6名

内山元希、大田周平、金 和幸、古城拓哉、森 光哉、安田明将

・設備 11名

明本 学、乾友紀子、川村 圭、齋藤隆治、佐藤大、鮫島佑典、戸田圭亮、持留崇志、守 雅俊、安井さおり、吉田圭吾

・施工 4名

芦谷直哉、井上裕之、金光 桂、河野孝太郎

・技術開発・その他 2名

藪田智裕、山岸 隆

(2) 優秀卒業生の表彰

優秀な建築系学科の卒業生を表彰することにより、研鑽意欲の向上を促し、激励するため1952(昭和27)年から実施している。

当期は下半期に、高等学校、工業高等学校、高等専門学校、専門学校を対象に、26校49名に実施した。

6. コンクールの実施

(1) 工高生デザインコンクールの実施

当期で69回を数える。「わくわくする小さな駅」を設計課題に募集を行い、23校より

140点の応募があり、内139点を合格とした。10月21日(土)に審査会、11月18日(土)に表彰式を行った。

開催：11月18日(土)

・最優秀賞 松岡祐人

三重県立四日市工業高等学校 2年

・優秀賞 小池蒼真

富山県立富山工業高等学校 3年

増田壮次郎

東京都立蔵前工業高等学校 3年

・入選 奥野 晴 大阪府立立工芸高等学校 3年

近藤寿哉 堺市立堺高等学校 3年

松川智也 堺市立堺高等学校 3年

峯野拓己 堺市立堺高等学校 3年

清水留美菜

富山県立富山工業高等学校 3年

高村実里 大阪府立立工芸高等学校 3年

中田雷斗

富山県立富山工業高等学校 3年

中村繪見

三重県立伊勢工業高等学校 3年

梅林美空

兵庫県立兵庫工業高等学校 3年

(2) 第7回「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールの実施

「片岡安賞」日本建築協会論考コンクールは、創立100周年を迎えたのを機に、本会の歴史を見つめ直し、「建築と社会」誌がさらに優れた論考の受け皿となり、建築界全体にとって有益な媒体となることを目的に立上げた。

当期は「Well-being」をテーマに募集し、応募のあった論考12作品を審査した結果、「片岡安賞」1名、佳作2名を選定した。

開催：3月23日(土)

・片岡安賞

ウェルビーイング充足の実践場としての団地の可能性

有原啓登

・佳作

中古住宅に住まう幸せ—空き家賃貸のススメ

前田朋子

機械のうえで少女はヒラヒラと漂う

塚本貴文

7. 出版物の刊行

時代のニーズに即した新しい著書の発掘を第一とし、建築に関する図書を企画・編集・刊行しており、1949(昭和24)年以来多くの図書を出版してきた。「建築技術選書」と「プロのノウハウ」シリーズはその代表である。

当期は、7月に「設計者のための 建築コストプランニング術」、1月に「雨漏り事件簿」第5刷を増刷した。

2. 「建築と社会」誌のアーカイブの閲覧

協会ホームページの会員専用ページから「建築と

社会」誌創刊号以降のバックナンバーを無料で閲覧できるシステムについては、昨年度、今年度の閲覧数を確認した。

2022年度は、ユーザー数：51,526、ページビュー：132,214であったが、2023年度はユーザー数：61,257、ページビュー：153,494とそれぞれ18%、16%の増加となっている。特に「見学会のご案内」[U35委員会]は1.5倍、「青年技術者選考結果」は1.2倍となった。

9. 関西建築4団体(大阪府建築士会、大阪府建築士事務所協会、日本建築家協会近畿支部、日本建築協会)との連携

(1) 在阪建築4団体との連携

コロナ禍以降3年間開催されていなかった「建築関係団体合同忘年懇親会」を共催すべく、合同会議を実施した。在阪建築9団体の協賛を得て、12月14日(木)にザ・ガーデンオリエンタル大阪で開催した。

なお、1956年から開催されてきた本会は、2023年をもって終回となった。

事業委員会所管

開催：12月14日(木)

名称等：2023年(第40回)建築関係団体合同忘年懇親会

出席主催代表者(代理含む)：

指田孝太郎(日本建築協会 会長)

岡本森廣(大阪府建築士会 代表)

辻 裕樹(大阪府建築士事務所協会 副会長)

坂井行信(日本建築家協会近畿支部 副支部長)

参加者：175名

(2) イケフェス大阪等との連携

「イケフェス大阪」など建築関係団体以外の団体との連携事業も引続き取組んだ。10月28日(土)・29日(日)に開催されたイケフェス大阪で、10月28日(日)にスペシャルツアー「日本建築協会 Presents! 三休橋筋を歩く」を実施した。公式ガイドブックを販売するなど連携を強めている。

事業委員会・史料研究会(教育委員会)所管

開催：10月28日(土)

名称等：日本建築協会Presents! 三休橋筋を歩く(生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪2023連携事業)

主要協力者：

指田孝太郎(挨拶)

福原和則(案内人)

三宅拓也(案内人)

橋守知子(案内人サポート)

安田徹也(案内人サポート)

前川 歩(案内人サポート)

参加者：31名

10. 共催、後援、協賛、協力事業

協会の事業主旨に合致する事業に共催、後援、協賛した。

(1) 共催

開催：7月1日～31日受付

名称等：第42回大阪都市景観建築賞(大阪まちなみ賞)

主催者：大阪府、大阪市、(公社)大阪府建築士会、(一社)大阪府建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会近畿支部大阪地域会、(一社)日本建築協会

(2) 後援

開催：4月10日

名称等：関西建設人ゴルフ大会

主催者：関西建設人ゴルフ大会委員会

開催：4月21日

名称等：雷テクノロジージャーナル見学会、内部雷保護・外部雷保護説明会

主催者：(公社)大阪府建築士会

開催：5月19日

名称等：設計者・施工者のためのデジタル技術の新たな潮流

主催者：(公社)大阪府建築士会

開催：6月5日～18日

名称等：宇宙建築～宇宙開発における建築の可能性～(WEB講習会)

主催者：(公社)大阪府建築士会

開催：6月19日～7月2日

名称等：スマートシティ～デジタル化社会におけるスマートシティ戦略と最新まちづくりの動向(WEB講習会)

主催者：(公社)大阪府建築士会

開催：9月8日

名称等：竹原義二講演会+ユニゾン大阪事業所見学会

主催者：(公社)大阪府建築士会

開催：9月11日～24日

名称等：建設工事の安全関係法改正のすべて!～大阪府工事入札(実績申告型)の評価点追加対象講習会～(WEB講習会)

主催者：(公社)大阪府建築士会

開催：9月14日

名称等：第12回建築紛争フォーラム「近畿地域における建築紛争の現状と課題」

- 主催者：(一社)日本建築学会
 開催：9月29日～10月1日
 名称等：日本福祉のまちづくり学会
 第26回全国大会(宇都宮)
- 主催者：(一社)日本福祉のまちづくり学会
 開催：10月13日、11月2日、11月10日
 名称等：建築士のためのIT活用連続セミナー
 主催者：(公社)大阪府建築士会
 開催：10月18日
 名称等：神戸須磨シーワールド工事見学会+説明会
 主催者：(公社)大阪府建築士会
 開催：11月11日
 名称等：なわ建築フェスタ2023児童画展
 主催者：(一社)大阪府建築士事務所協会
 開催：11月11日
 名称等：マロニエBIMコンペOSAKA2023
 主催者：(一社)大阪府建築士事務所協会
 開催：11月20日
 名称等：介護・女性・ジェンダー トイレの悩み
 解説講座
 主催者：(公社)大阪府建築士会
 開催：2月5日、3月8日
 名称等：「建物の火害診断および補修・補強方法
 指針・同解説2024」改定講習会
- 主催者：(一社)日本建築学会
 開催：2月28日
 名称等：確認申請のプロ養成講座
 主催者：(公社)大阪府建築士会
 開催：3月1日～3日
 名称等：修成建設専門学校 卒業展2024
 主催者：修成建設専門学校
 開催：3月15日
 名称等：茨木市文化育て複合施設「おにくる」
 見学会+説明会
- 主催者：(公社)大阪府建築士会
 (3)協賛
 開催：9月4日応募開始
 名称等：第33回「あすなろ夢建築」
 大阪府公共建築設計コンクール
 主催者：大阪府、(公社)大阪府建築士会、
 大阪府住宅供給公社
 開催：10月28日～29日
 名称等：生きた建築ミュージアムフェスティバル
 大阪(イケフェス大阪)2023
 主催者：生きた建築ミュージアム大阪実行委員会
 開催：3月12日～15日
 名称等：建築・建材展2024
 主催者：(株)日本経済新聞社
- (4)協力
 当期該当なし
11. 工事請負契約約款事業
 民間(七会)連合協定工事請負契約約款委員会に
 2名の委員を派遣した。
 引き続き「民間(七会)連合協定工事請負契約約
 款契約書関係書式」「民間(七会)連合協定小規模建
 築物・設計施工一括用工事請負契約書類(書式・約
 款)」「民間(七会)連合協定リフォーム工事請負契
 約書類(書式・約款)」「民間(七会)連合協定マン
 ション修繕工事請負契約約款契約書関係書式」の販
 売を行うとともに、約款委員会が発行する4つの約
 款、書式の説明用パンフレットを販売窓口等で配布
 し、約款の周知、啓発に努めた。
12. 役員派遣
 大阪商工会議所に2名議員として役員1名を派遣
 した。
 (一財)大阪建築防災センターに監事として役員
 1名を8月31日まで派遣した。

II 支 部

〔中国支部〕

◎役員会等の開催状況

1. 総会、役員会、常議員会

定時総会 8月28日(月)

- ①2022年度事業報告
- ②2022年度収支決算報告及び監査報告
- ③2023年度事業計画(案)
- ④2023年度収支予算(案)
- ⑤役員改選(案)
- ⑥建築施工技術研究委員会活動報告

常議員会 7月7日(金)

- ①2022年度事業報告
- ②2022年度収支決算報告及び監査報告
- ③2023年度事業計画(案)
- ④2023年度収支予算(案)
- ⑤役員改選(案)
- ⑥建築施工技術研究委員会活動報告

第1回 幹事会 4月12日(水)

- ①2023年度事業計画(案)
- ②技術講習会日程
- ③講習会におけるコロナ感染対策
- ④若手・新入社員技術講習会延期について

第2回 幹事会 6月7日(水)

- ①2023年度定時総会
- ②2023年度常議員会

③中堅社員技術講習会の講義内容について

第3回 幹事会 12月22日(金)

- ①実務講習会について
 - ②中堅社員技術講習会報告
- 第4回 幹事会 3月5日(火)
- ①2024年度講習会について
 - ②2024年度事業計画について
 - ③若手・新入社員技術講習会について

◎事業の執行状況

1. 講習会の実施

6月7日(水)に若手・新入社員向け、11月30日(木)に中堅社員向けに開催した。

2. 工事請負契約約款事業

「民間(七会)連合協定工事請負契約約款契約書関係書式」「民間(七会)連合協定小規模建築物・設計施工一括用工事請負契約書類(書式・約款)」「民間(七会)連合協定リフォーム工事請負契約書類(書式・約款)」「民間(七会)連合協定マンション修繕工事請負契約約款契約書関係書式」の販売を行った。

〔東海支部〕

◎役員会等の開催状況

1. 総会、役員会、常議員会

定時総会 5月31日(水)

- ①2022年度事業報告・収支決算報告
- ②2023年度事業計画・収支予算計画
- ③支部役員改選

第1回 常議員会 幹事会 4月25日(火)

- ①2023年度定時総会、講演会
- ②2022年度事業報告と2023年度事業計画
- ③2022年度収支決算報告と2023年度収支予算計画
- ④2023年度支部役員・委員会構成
- ⑤各常置委員会活動報告

第2回 常議員会 幹事会 5月18日(木)

- ①2023年度定時総会議案
- ②東海支部定時総会の段取り
- ③今後の支部運営
- ④各常置委員会活動報告

第3回 常議員会 幹事会 6月27日(火)

- ①2023年度定時総会収支
- ②2023年度常置委員会構成
- ③本年度役員会日程

第4回 常議員会 幹事会 7月25日(火)

- ①名簿作成および内容確認連絡
- ②「東海の建築」発行
- ③8/22青年技術者交流会
- ④各常置委員会活動報告

第5回 常議員会 幹事会 9月26日(火)

- ①会員名簿掲載用資料
- ②上半期事業報告書(本部提出)内容
- ③2024年3月号「建築と社会」東海特集号記事企画
- ④各常置委員会活動報告

第6回 常議員会 幹事会 10月24日(火)

- ①2024年3月号「建築と社会」東海特集号記事企画
- ②新年互礼会準備について
- ③各常置委員会活動報告

第7回 常議員会 幹事会 11月22日(水)

- ①2024年3月号「建築と社会」東海特集号記事企画
- ②支部新年互礼会準備について
- ③各常置委員会活動報告

第8回 常議員会 幹事会 12月15日(金)

- ①2024年3月号「建築と社会」東海特集号記事企画
- ②支部新年互礼会準備について
- ③各常置委員会活動報告 見学会について、実務講習会報告

第9回 常議員会 幹事会 1月23日(火)

- ①次年度事業計画案について(3/8本部報告)
- ②本年度決算見込みと次年度予算初案について
- ③2024年3月号「建築と社会」東海特集号記事企画
- ④各常置委員会活動報告 見学会について、実務講習会報告

第10回 常議員会 幹事会 2月27日(火)

- ①2024年3月号「建築と社会」東海特集号発行
- ②本年度決算見込みと次年度予算初案について
- ③次年度事業計画案について(3/8本部報告)
- ④次年度総会準備(委員会構成、講演会講師)
- ⑤各常置委員会活動報告 見学会について

第11回 常議員会 幹事会 3月26日(火)

- ①本年度決算見込みと次年度予算初案について
- ②次年度委員会構成
- ③総会講演会講師
- ④各常置委員会活動報告 見学会報告、懇親グループについて

2. 常置委員会

(1) 総務委員会

支部定時総会準備、年度決算及び次年度予算作成並びに委員会構成等で随時開催した。

(2) 編集委員会

「東海の建築」第91号を秋に発刊するために準備を行った。

「建築と社会」3月号(東海特集号)作成に向け関係者と打合せを適宜実施した。

(3) 会員委員会

会員名簿作成のため、打合せを適宜開催した。

(4) 事業委員会

建築視察のため、打合せを適宜開催した。

(5) 研修委員会

8月22日(火)に青年技術者顕彰者交流会・懇親会を開催した。

支部建築工事実務講習会の講師検討・手配打合せを2回実施した。

12月13日(水)に支部建築工事実務講習会講師との事前打合せを開催した。

2月7日(水)に支部建築工事実務講習会後の打合せを開催した。

建築八団体新年互例会事前準備、手配打合せ3回実施した。

(6) 青年委員会

若手設計者による現地建物等見学及び意見交換会の場である「納マリ倶楽部」を適宜開催。

若手による支部活動の活性化を図っている。

◎事業の執行状況

1. 講演会の開催

今年度は、支部総会後に講演会を1回開催した。(会場・WEBのハイブリッド開催)

開催：5月31日(水)

名称等：「建築×街区×公共空間の新しい関係性を問う」

講師：井澤知旦

名古屋学院大学名誉教授

名古屋工業大学客員教授博士(工学)

参加者：23名

2. 支部機関紙「東海の建築」の発行事業

「東海の建築」第91号を12月に発行した。

3. 「建築と社会」3月号東海特集号の編集

作品作風14作品、Tokai Sketch Book 4作品、東海の建築は「木」をテーマに4作品の掲載を行い、以下の特集の取りまとめを行った。

特集Ⅰ 「これからのモノ・コト・ヒトづくりを考える」第3弾

オフィスの潮流と新しい働き方～名古屋大学恒川和久先生ほか

特集Ⅱ 納マリ倶楽部

特集Ⅲ 建築がつなぐ都市、地域、まちの記憶 第7回

4. 建築工事実務講習会の開催

1月17日(水)に開催した。(施工計画・仮設見積・積算業務)

5. 見学会の実施

3月15日(金)に見学会を開催した。浅沼組名古屋支店改修プロジェクトと笹島高架下オフィスを見学した。

6. 支部主催定期研修会の実施

今年度は実施なし。

7. 青年技術者顕彰者交流会の開催

8月22日(火)に第70回青年技術者顕彰者(東海支部エリア在籍)を招いた交流会をWEB併用にて開催した。

8. 納マリ倶楽部(青年交流会)

8月22日(火)の青年技術者顕彰者交流会にメンバーの一部が参加した。

2月14日(水)～15日(木)で札幌市図書・情報館など札幌市内の建築を視察した。

9. 支部会員名簿の発行

東海支部会員名簿2023年度版を12月に発行した。

10. 建築関係団体との交流、連携

(1) 建築八団体との連携

・愛知建築士会、愛知県建築士事務所協会、日本建築家協会東海支部愛知地域会、日本建築学会東海支部、日本建築構造技術者協会中部支部、日本積算協会東海北陸支部、愛知県設備設計監理協会、日本建築協会東海支部からなる連絡協議会(建築八団体連絡会)に3回参加した。

・名古屋市との昼食懇談会の調整運営を行った。

(2) 中部建築賞協議会への協力

・中部建築賞を運営した。監事として監査を実施した。

〔京都支部〕

◎役員会等の開催状況

1. 総会、役員会、常議員会

定時総会 9月20日(水)

- ①2022年度事業報告・収支決算報告
- ②2023年度事業計画・収支予算計画
- ③その他

第1回 常議員会 5月18日(木)

- ①2023年度セミナー
- ②見学会について
- ③近現代建築調査
- ④その他

第2回 常議員会 7月6日(木)

- ①見学会について
- ②セミナーについて

- ③近現代建築調査
- ④その他
- 第3回 常議員会 8月31日(木)
 - ①宮津見学会について
 - ②総会の開催について
 - ③セミナーについて
 - ④近現代建築調査
 - ⑤その他
- 第4回 常議員会 10月19日(金)
 - ①見学会について
 - ②近現代建築調査
 - ③その他
- 第5回 常議員会 11月30日(水)
 - ①見学会について
 - ②近現代建築調査
 - ③その他
- 第6回 常議員会 1月25日(木)
 - ①セミナー見学会「河井寛次郎記念館訪問と清水・茶わん坂を巡る」の報告

- ②近現代建造物調査
- ③その他
- 第7回 常議員会 3月5日(木)
 - ①近現代建築調査 宮津市役所ほかについて
 - ②来年度の事業計画について
 - ③その他
- ◎事業の執行状況
- 1. 講演会、見学会、勉強会の実施

今年度はセミナー・見学会を2回実施した。

開催：9月9日(土)

名称等：「海の京都 宮津／天橋立・加悦町へ」

講師：天橋作事組 理事 岩田信一

参加者：9名

開催：12月6日(水)

名称等：「河井寛次郎記念館訪問見学と清水・茶わん坂を巡る」

講師：河井寛次郎記念館学芸員 鷺 珠江
陶芸家 林 侑子

- 参加者：15名
- 2. 2級建築士受験講習会の開催

京都府建築士会との共催で実施した。

開催：7月16日(土)～9月4日(日)

内容等：①製図(基本)2日間
②製図(応用)延べ6日間

講師：加藤正浩 KATO建築研究所
京都府建築士会事業委員会委員

受講者：8名
- 3. その他
 - (1) 11月23日に宮津市で開催された「宮津市役所庁舎の保存」に関するシンポジウムに支部として参加し、意見交換および今後の調査に関する打合せを行った。
 - (2) 長瀬前支部長を追悼する企画として、支部有志が記念誌を編集、刊行した。